

郡家コンクリート工業株式会社

鳥取県八頭郡八頭町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

他社が作らない製品を作る、新しくて良い製品を鳥取県内で他社に先駆けて作る

- 製造ノウハウを生かしたオリジナルブランドによる同社独自のコンクリート製品の開発
- 毎月の勉強会開催により、全従業員で職場改善に取り組み、意識を向上
- 新たな技術を活用した、デザイン性の高いコンクリート製品の製造

企業基本情報

所在地	鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17
電話/FAX	0858-73-0500/0858-73-0535
URL	http://www.kooge.jp/
代表者	代表取締役 山根 正樹
設立	1971年
資本金	1,000万円
従業員数	27人



会社概要

生コンクリートの製造販売のみを行っていたが、1991年よりコンクリート製品の製造販売の取り扱いを開始。他社が作らない特殊品・オーダー品を手掛けてきた。2016年にデザインプロジェクト「kooge.co」を開始し、土木用製品以外の分野を扱う自社ブランドとして取組を進めている。また、「HPC」構法を活用した壁材、什器、家具などの薄肉製品の開発をおこなっている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 製造ノウハウを生かしたオリジナル商品の開発

JIS規格品の大量生産ではなく、他社が作らない特殊品・オーダー品を手掛けてきた。高級ブランドの什器に採用から得られたヒントと、公共工事向けのオリジナル製品を製造してきたノウハウを生かし、商業施設向けコンクリート製品の製造販売に取り組んでいる。同社のオリジナルブランド「kooge.co（コオゲドットコー）」を立ち上げ、店頭ディスプレイや什器、インテリア、スマートフォン用スピーカーなど、従来のコンクリート製品の概念を超えた製品開発をおこなっている。



自社ブランド「kooge.co」

▶▶▶ 全従業員で取り組む職場環境の改善

毎月1回、全従業員が参加する勉強会を開催している。勉強会では職場の課題に対して改善策や取組内容を従業員が検討し、意見交換・発表する機会を設けている。担当部署のみで協議、検討するのではなく、担当部署ではない従業員からも広く意見を聴衆する事で、新たな気付きや解決策を導き出す事が出来ている。全従業員が参加し、社内全体の問題として情報を共有する事で職場内の環境改善に対する意識の向上につながっている。



勉強会の様子

▶▶▶ HPC 構法の活用による薄肉コンクリート製品の開発

製品の強度を確保するために入れていた鉄筋の代わりに、カーボン繊維を使用するHPC（ハイブリッドプレストレストコンクリート）構法の活用で、大幅な強度の向上と製品厚や重量を従来の半分から1/3程度に抑えることができた。軽量化により施工性が向上し、デザイン性の高い製品の製造が可能となった。このような特性と公共工事向けの特殊品・オーダー品を製造してきた開発技術を生かして、建築用壁材、家具などの分野へ展開していく。



スマートフォン用スピーカー